



CAR SECURITY

AES-110

盗難発生警報装置保安基準適合品

取扱・取付説明書

6SS1030-A

このたびは、セキュリティユニットAES-110をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、操作手順をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。製品保証はメインとなる機器の保証規定に準じます。

登録書について

製品付属の登録書は、取付車輛の車検実施時に本機が、盗難発生警報装置技術基準に適合した製品であることを明確にするためのものです。車検時の確認書類として大切に保管してください。

操作手順

本機は併用する弊社エンジンスタートのリモコンで、警戒開始・警戒解除の操作ができます。警戒中は、ドア開・警報入力(トランク・ボンネット開)・衝撃(強弱2段階)・イグニッションONを検知して、警告・警戒を行います(警戒モード1)。また、弱い衝撃の警告動作をOFFにして警戒すること(警戒モード2)やドア開や警報入力(トランク・ボンネット開)、イグニッションONのみを警戒すること(警戒モード3)ができます。

警戒操作

弊社エンジンスタートリモコンのドアロック操作で警戒を開始できます。また、警戒開始操作を受け付けると、車幅灯(スモールランプ)を1回点滅させることが可能です。OCB対応の弊社エンジンスタートのリモコンで警戒を開始する場合は、セキュリティモードに設定してから操作してください。

ご注意

- エンジンキーでアイドリング中は、本機警戒開始・ドアロックができません。
- プッシュスタート車や弊社エンジンスタートでオプションのA-18SFを使用している場合は、車幅灯(スモールランプ)を点滅させることができます。

補足

- 警戒中にエンジンスタートでエンジンを始動すると、警戒モード3で警戒を継続します。アイドリング停止後は、エンジン始動前の警戒モードになります。

警戒中の動作

警戒中は、車輛の衝撃(強弱2段階)・警報入力(トランク・ボンネット開)・ドア開・イグニッションONを検知すると警告・警戒動作を行います。

- 警戒動作・・・イグニッションON、ドア開、警報入力(トランク・ボンネット開)、強い衝撃の検知
- 車輛の警音器(クラクション)を30秒間鳴らし、車幅灯(スモールランプ)が連続して点滅します。クラクションは断続音で鳴動します。

警戒解除操作

弊社エンジンスタートリモコンのドアアンロック操作で警戒を解除できます。また、警戒解除操作を受け付けると、車幅灯(スモールランプ)を2回点滅させることが可能です。

ご注意

プッシュスタート車や弊社エンジンスタートでオプションのA-18SFを使用している場合は、車幅灯(スモールランプ)を点滅させることができません。

補足

- ドアアンロック操作方法について詳しくは、エンジンスタート取扱説明書をご覧ください。
- エンジンスタートに別売A-17SF:キーレスエントリー線を接続してある場合は、ドアアンロックとともに警戒を解除できます。

取り付けの前に (安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け・お使いください。ここに記載された注意事項は、取り付け・接続作業をする方とお客さまの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

- 警告

警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。
- 注意

注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

△

△

記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

ⓧ

ⓧ

記号は禁止の行為であることを告げるものです。

●

●

記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

保安基準について

本機は、平成18年7月より施行された道路運送車両法 盗難発生警報装置技術基準(保安基準)に適合した製品になります。取り付けを行う場合は、取扱・取付説明書(本書)の内容に従い、行ってください。

警告

安全に作業をしていただくため、パーキングブレーキを必ずかけ、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行う

取り付け作業は、必ずエンジンがさめている状態のときに行う
…火傷する恐れがあります。

エアバックシステムの配線およびコネクタには触れない
…エアバックシステムが異常になることがあります。

車輻の信号線に接続する際はサーキットテスターで確認してください。

接続は市販のエレクトロタップなどを使用して、車輻の信号線と確実に接続してください。また、接続後は接続部を必ず絶縁テープなどでテーピングしてください。

各ユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付ける

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない
…故障や火災の原因となります。

エンジンルーム取付部品

ワイヤレスリレー

動作確認用LED

常時電源 2m (赤線)

GND 2m (黒線)

ホーン出力 2m (緑線)

未使用 0.1m (青線)

警告・警報出力 0.1m (緑線)

常時電源 2m (赤線)

バッテリーのプラス端子に接続します。

GND 2m (黒線)

車輛のグラウンド(アース)に接続

ホーン出力 2m (緑線)

車輛のホーンに接続します。

未使用 0.1m (青線)

警告・警報出力 0.1m (緑線)

警告・警報・警戒開始・解除時に0Vを断続出力します。(最大60mA)

接続がない場合は、絶縁テープで端末処理を行ってください。

仕様

電源電圧	12V車専用
外形寸法	セキュリティユニット：126(W)×19(H)×72(D)mm(突起部含まず) ワイヤレスリレー：70(W)×25(H)×54(D)mm(突起部含まず)
重量	セキュリティユニット：85.9g ワイヤレスリレー：163.5g(ケーブル含む)
消費電流	標準付属：警戒時 8.6mA 待機時 6.8mA
消費電流 (オプション)	ボンネットスイッチ(A-29SF)：警戒時 0.0mA 待機時 0.0mA リレーユニット(A-33SF)：警戒時 0.0mA 待機時 0.0mA
※保安基準では、警戒時の消費電流が30mA以下と定められています。 当システムはオプションを全て接続しても保安基準の30mA以下となります。	
セット内容	●セキュリティユニット(1) ●ワイヤレスリレー(1) ●緊急解除スイッチ(1) ●リレー(1) ●アンテナ分岐線(1) ●スモールランプ接続(灰)線(1) ●AUX(紫)線(1) ●16ピンハーネス(1) ●エレクトロタップ(大3、小5) ●コードクリップ(1) ●タイラップ(大2、中1、小1) ●両面テープ(1) ●セキュリティステッカー(1) ●調整ドライバー(1) ●登録書(1) ●取扱・取付説明書(本書)

本機を取り付けたことによる、車輛や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

基本接続図

OCB対応の弊社エンジンスタートと併用することが可能です。

セキュリティユニット

緊急解除スイッチと接続

センサ感度ボリューム

拡張端子

アンテナ分岐線

エンジンスタートアンテナユニット

OCB対応の弊社エンジンスタートは、アンテナユニットを付属のアンテナ分岐線で分岐して接続します。

16ピンコネクタ

① 常時電源 (赤)	⑨ 未使用
② GND (黒)	⑩ 未使用
③ ACC電源 (青/白)	⑪ 未使用
④ 未使用	⑫ 未使用
⑤ 警報入力	⑬ ドア開トリガ (灰)
⑥ スモール出力	⑭ スモール入力 (灰)
⑦ 未使用	⑮ エンジンスタート接続 (紫)
⑧ 未使用	⑯ 未使用

ケーブル側から見た配線を記しています。

車輻信号線と接続する際の注意

※接続先はサーキットテスターで確認してください。
※接続は市販のエレクトロタップなどを使用して、車輻の信号線と確実に接続してください。
また、接続後は接続部を必ず絶縁テープなどでテーピングしてください。

⑭ 灰線 1m
エンジンスタートのセンサーハーネス(ハザード制御)に接続します。
※接続先はモデルにより異なります。
センサーハーネス 8ピンタイプ ⑦ 番ピン 10ピンタイプ ⑩ 番ピン

⑮ 紫線 1m
エンジンスタートのセンサーハーネス(エンジンスタート接続線)に接続します。
※接続先はモデルにより異なります。
センサーハーネス 8ピンタイプ ③ 番ピン 10ピンタイプ ⑧ 番ピン

① 赤線 1.5m
車輛の常時電源(+B)と接続します。
エンジンキーをOFFにしても12Vの電源がOFFにならない電源線と接続します。

② 黒線 1m
車輛のグラウンド(アース)と接続します。
塗装していない車輻ボディのネジなどに取り付けます。

③ 青/白線 2m
車輛のアクセサリ電源と接続します。
エンジンキーと連動して、12Vの電源がON/OFFする電源と接続します。

④ 未使用 青/黒線(1m)
※絶縁テープで端末処理を行ってください。

⑤ 黄/黒線 1m
警報入力
トランクの開放やボンネットの開放を検知する場合に接続します。
※トランクを開けたときに12Vになる場合に、別売品A-33SF：リレーユニットが必要です。
ボンネットの開放を検知する場合は、別売品A-29SF:ボンネットスイッチを接続します。

付属のAUX線を使用して、車輻の車幅灯(スモールランプ)制御ラインに接続します。

⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①

●エンジンスタートセンサーハーネス(8ピンタイプ)

●エンジンスタートセンサーハーネス(10ピンタイプ)

メモ

プッシュスタート車で警戒開始操作時や警戒解除操作時にハザードランプを点滅させる場合は、弊社エンジンスタートのオプション A-18SF(ハザード制御)を使用して、エンジンスタートのセンサーハーネスに接続してください。
※A-18SFの接続につきましては、エンジンスタート付属の取付説明書をご参照ください。

AUX線の使いかた

付属のAUX線は両端の端子のいずれかを16ピンコネクタに差し込んでご使用ください。片側の端子は切断して車輛の信号線などにエレクトロタップを使って接続します。

補足

- スモールランプに接続する場合は、AUX線を適当な部分でカットして使用します。長さが足りない場合は、適当な電線で延長してください。
- AUX線は1本付属していますが、足りない場合は、別売：A-60オルタネータ線をご使用ください。

※オルタネータ線1本で1カ所の接続ができます。2カ所に接続する場合は、2本必要となります。

エレクトロタップの使いかた

各検出線は以下の手順で接続してください。
※エレクトロタップは大小2種類あります。ケーブルの太さに合ったエレクトロタップをご使用ください。

①各検出線を図のストッパーに突きあて、車のコードを通して矢印のように折り返す。

②もう1度、矢印のように折り返す。

③プライヤーなどで、ラッチがかむまで締め付ける。

④絶縁テープを巻く。

※接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車輛にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

ドア開トリガの接続

※車輛や接続によっては、別売A-30SF：ドアスイッチ接続線が必要になる場合がございます。

ドア開トリガ(16ピンハーネス⑬番ピン)は各ドアを開けたときに電圧が変化する信号線に接続します。

【注意】

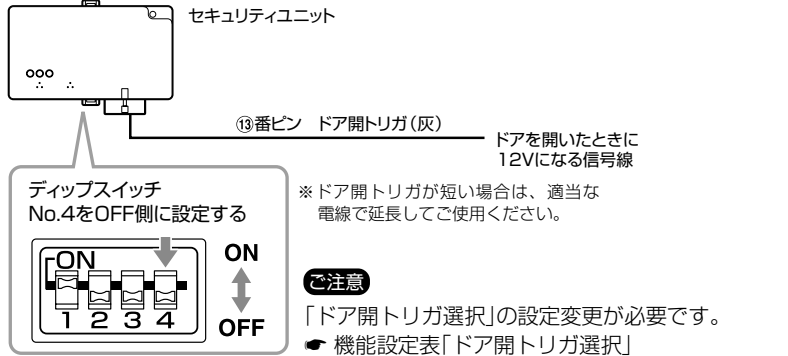
保安基準上、どのドア(リアハッチ含む)が開いても、ドア開検知ができなければいけないと定められております。

【補足】

ルームランプやフットランプに接続する場合は、電球を外した状態やスイッチをOFFにした状態で、各ドア(リアハッチを含む)の信号線と導通することをご確認ください。

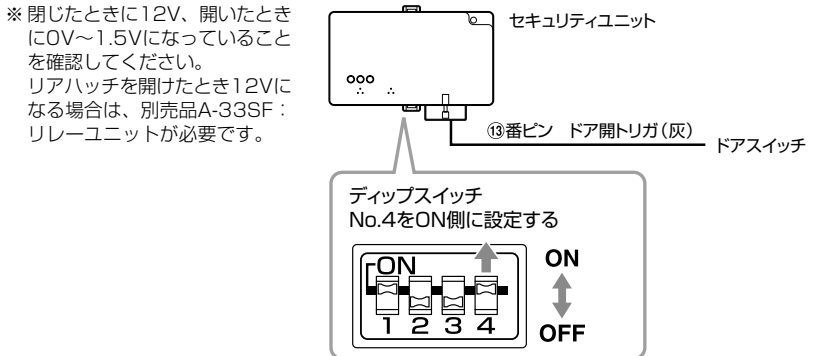
開いたときに12Vになる信号線に接続する場合

※閉じたときにOV、開いたときに12Vになっていることを確認してください。



開いたときにOVになる信号線に接続する場合(ドアスイッチ(カーテン)に接続する場合)

※ドアスイッチは各ドア単独系統になっている場合があります。このような車輛は、別売A-30SF：ドアスイッチ接続線セットを使用して各ドアスイッチへ接続してください。



警報入力接続

トランク開放を検知する場合やボンネット開を検知する場合には接続します。
※一部の車輛では接続できません。

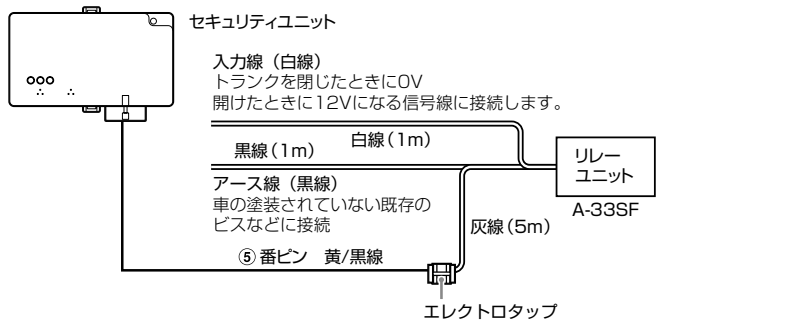
【補足】

- トランクを開けたときに12Vになる場合は、別売品A-33SF：リレーユニットが必要です。
- ボンネット開を検知する場合は、別売品A-29SF：ボンネットスイッチが必要です。
- ボンネットとトランク両方を警戒する場合は、警報入力(黄/黒)を分岐して接続を行ってください。

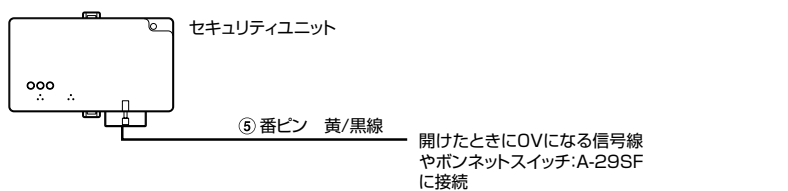
■警報入力(黄/黒線)の接続方法

トランクを開けたときに12Vになる信号線に接続する場合(トランク内の照明ランプに接続する場合)

※サーキットテスターで閉じたときにOV、開けたときに12Vになっていることをご確認ください。

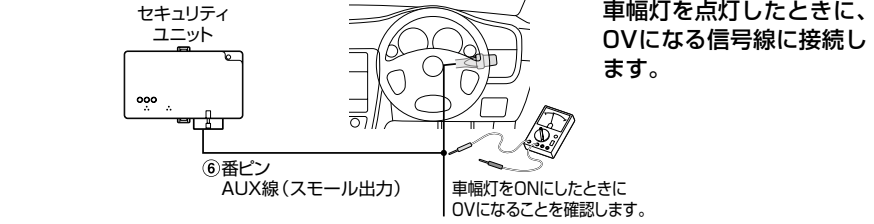


トランクを開けたときにOVになる信号線に接続する場合や別売品ボンネットスイッチ：A-29SFを使ってボンネット検知をする場合

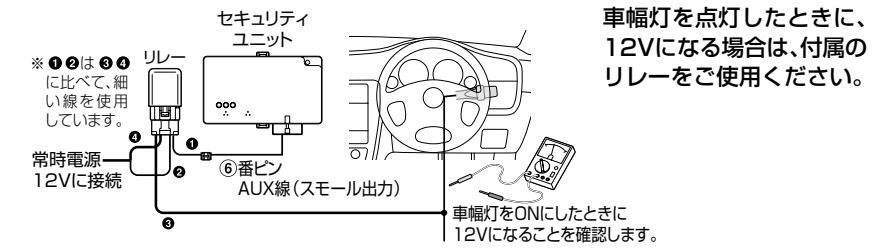


スモールランプの接続

■点灯した時にOVになる場合



■点灯した時に12Vになる場合



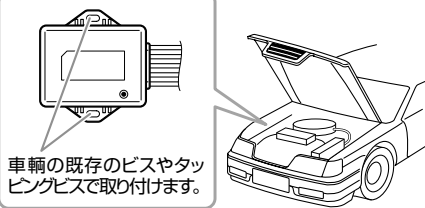
【注意】

一部の車輛は、多重通信制御等により12Vを出力しない場合があります。このような場合はリレーの出力線(⑨)を車幅灯(スモールランプ)に直接接続してください。※一部の車輛では、1箇所の接続だけでは、車輛すべての車幅灯が点灯しないことがあります。

ワイヤレスリレーの取り付け

ワイヤレスリレーはエンジンルームの既存のビスやタッピングビスを使って取り付けます。以下の点に注意して、取り付け場所を選定してください。

- 雨(水)が直接かからない場所
- エンジンの熱の影響を受けにくい場所
- 駆動部(ファンベルトなど)から離れた場所



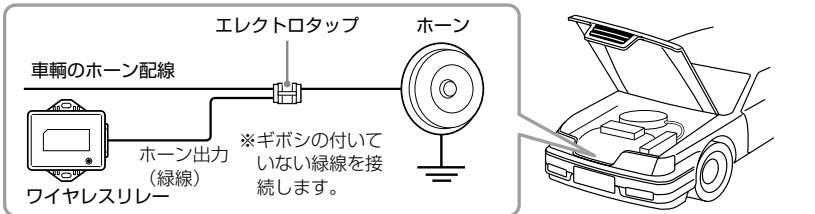
弊社セパレートレーダー探知機との併用の場合

セパレートレーダー探知機のGND位置によっては、データ伝送がうまくいかないことがあります。併用の場合でこのような症状のときは、ワイヤレスリレーまたはセパレートレーダー探知機のGND位置を変えてください。

ホーン出力の接続

※一部の車種では、取付できません。取付不適合車種は、下記のURLでご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/products/en_sta/aes_110.html

ワイヤレスリレーユニットのホーン出力(緑線)を、車輛のホーン配線のプラス側にエレクトロタップを使って接続します。



セキュリティユニットの取り付け

ボディ、ウィンドウへの衝撃を検知する衝撃センサ(強・弱2段階)を内蔵しています。セキュリティユニットの2つのボリュームで弱衝撃/強衝撃の感度調整ができます。

※すべての設定と動作の確認を終了するまでは、仮の取り付け(最終的な取り付け場所付近で仮止め)にしてください。仮の取り付け場所と最終の取り付け場所が大きく異なる場合は、衝撃センサの反応が異なり、誤作動の原因となります。

セキュリティユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならず、不審者に見えにくいような場所にしっかりと固定し、タイラップやコードクリップを使用して配線処理をしてください。

■市販の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する

※走行中の振動で容易に外れないように付属のタイラップで、セキュリティユニットやハーネス類を固定します。

【注意】

- 次のような場所を、避けて取り付けてください。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
 - ・直射日光の当たる場所。
 - ・不安定な場所。

ワイヤレスリレーの動作確認

すべての接続を終了後、ワイヤレスリレーの動作を確認します。

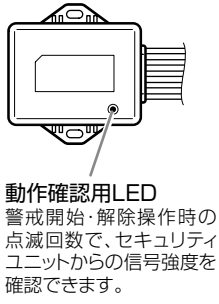
■ワイヤレスリレー動作確認手順

エンジンスタートのリモコンで警戒開始操作を行い、そのときのワイヤレスリレー動作確認用LED(右図)の点滅回数を確認します。

※OCB対応の弊社エンジンスタートで確認する場合は、リモコンをセキュリティモードに変更してから確認してください。

1回	信号が弱い
2回以上	良好

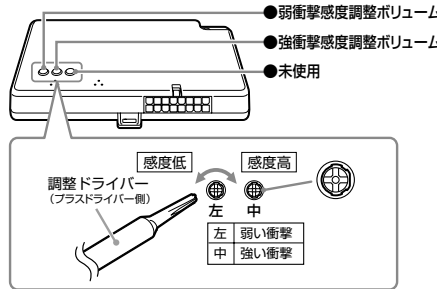
点滅が1回の場合は、GNDの取り付け位置を変更してください。



衝撃センサの感度調整

■弱衝撃/強衝撃の感度調整

- ・通常使用では調整しないでください。
- ・強衝撃の感度を強める場合は、保安基準を考慮して調整してください。
- ・周囲の環境(幹線道路に面している駐車場や、地下駐車場の排気ファンの近くなど)により、誤作動が多い場合など調整をしてください。
- ・誤作動する警報項目のボリュームを反対方向に回すと感度が低下します。誤作動がなくなる位置に調整してください。



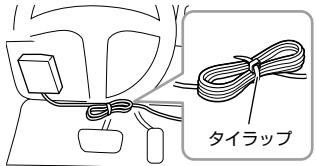
※付属の調整ドライバーを使用して調整してください。

配線処理について

すべての取り付けや設定、調整が終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。配線処理は、各ユニットの操作性やケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して、位置や向きを決めてください。

■タイラップによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに付属のタイラップを用いて共締めします。余分なケーブルは束ねて共締めしてください。

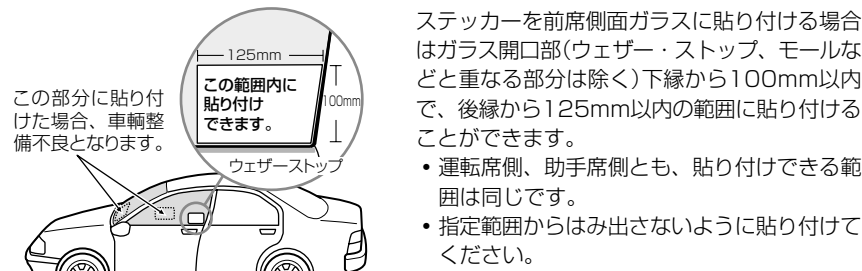


「セキュリティステッカー」の貼り付け

付属のセキュリティステッカーは車輛の側面ガラスまたはリアガラスに貼り付けることができます。

【ポイント】

- 道路運送車両法 保安基準により、盗難防止用ステッカーの貼り付け位置が決まっています。
- ・前席側面ガラスには指定範囲内に限り、貼り付けできます。
 - ・後席側面ガラス、リアガラスは好きな場所に貼り付けできます。
 - ・前面ガラスには貼り付けできません。



ステッカーを前席側面ガラスに貼り付ける場合はガラス開口部(ウェザー・ストップ、モールなどと重なる部分は除く)下縁から100mm以内で、後縁から125mm以内の範囲に貼り付けることができます。

- ・運転席側、助手席側とも、貼り付けできる範囲は同じです。
- ・指定範囲からはみ出さないように貼り付けてください。

お願い

車輛の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明を行ったうえで、本書をお渡しください。長期間、車を使用しない場合は、車輛のバッテリー上がりの心配がありますので、セキュリティを解除しておくか、できるだけ定期的に走行して、充電を心がけるように説明してください。

お客様ご相談窓口

製品の取り付け、取り扱いなどで不明な点がございましたら、最寄りの弊社サービス部またはご相談窓口

0564-45-6515

までお問い合わせください。
※お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。

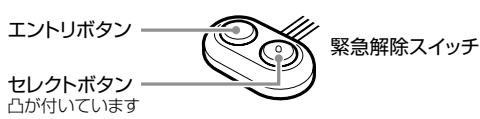
受付時間 10:00～18:00
(年末年始など、当社指定期間を除く)

※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。



機能設定

本機機能を下記の手順で設定します。



手 順	設定例 パレーモードをONにする
-----	---------------------

緊急解除スイッチのエントリボタンを押しながら、エンジンキーをACCまで回す。「ピーピー」が鳴り、設定項目を示す確認音「ビッ」が連続して鳴ります。

セレクトボタンを押して、設定項目を選択する。
セレクトボタンを押すごとに設定項目が進みます。
確認音で確認しながら設定項目を選択します。

設定項目	確認音(連続して鳴ります)
誤動作防止機能	ビッ
パレーモード設定	ビビッ
スタンバイ時間設定	ビビビッ
未使用	ビビビビッ
ドア開トリガ選択	ビー
未使用	ビービッ
未使用	ビービビッ
未使用	ビービビビッ
未使用	ビービビビビッ
未使用	ビービビビビビッ

エントリボタンを押して、設定項目を確定する。
※確認音が止まります。

セレクトボタンを押して、設定値を選択する。
設定音が1回鳴ります。
下表の設定音を確認しながら設定値を選択します。

エントリボタンを押して、設定値を確定する。
完了音「ビー」が鳴ります。
ほかの設定項目を変更する場合は、セレクトボタンで設定項目を選択します。
設定を終了する場合は、エンジンキーをOFFにしてください。

設定項目	動作内容	設定値	設定音
誤動作防止機能	一定時間内に同じセンサが異常を3回検知すると、誤動作と判断し、警告・警報しません。 5分以上検知しない状態が続くと、通常の状態に復帰します。	誤動作防止ON	ビッ
パレーモード設定	警戒操作を無効にします。お車の点検や整備の際にご使用ください。	パレーモードOFF	ビッ
スタンバイ時間設定	警戒操作から警戒を開始になるまでの時間を設定できます。	パレーモードON 10秒 30秒 1分 3分	ビビッ ビビビッ ビビビビッ ビビビビビッ
ドア開トリガ選択	ドアを開けたとき、12Vになる信号線に接続した場合は「HIGH」に設定してください。	HIGH LOW	ビッ ビビッ

は初期値を示しています。

本機はセンサにより異常を検知し、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラや盗難を完全に防止できるものではありません。また、本機の動作の有無に関わらず発生した盗難事故、イタズラによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。